旅立ち

年　組　番

得点　／30

問一　次の傍線部の漢字の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　百代の過客にして、（　　）　②　去年の秋、（　　）

③　弥生も末の七日、（　　）　④　矢立の初め（　　）

問二　次の傍線部の語句の意味を答えなさい。

①　月日は百代の過客（　　）　②　いづれの年よりか、（　　）

③　やや年も暮れ、（　　）　④　むつまじきかぎり（　　）

⑤　あけぼのの空（　　）

問三　〈　　〉内の大意にあうように、次の動詞を適切な形に直して空欄に入れなさい。

①　上がる　千住といふ所にて舟を［　　］ば、〈千住で舟を上がったところ〉

②　死す　古人も多く旅に［　　］るあり。〈昔の人も旅で死んだ人が多くいる〉

問四　次の傍線部の文法的説明として適切なものを後から選び、記号で答えなさい。（同じものを複数使ってもよい）

①　富士の峰かすかに見えて、（　　）　②　日々旅にして、（　　）

③　あけぼのの空朧々として、（　　）　④　またいつかはと心細し。（　　）

ア格助詞　**イ**接続助詞　**ウ**形容動詞の一部　**エ**副詞の一部　**オ**断定の助動詞

問五　次の傍線部の文法的説明として適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

①　住める方は人に譲り、（　　）　②　後ろ影の見ゆるまではと（　　）

ア動詞の活用語尾の一部　**イ**完了・存続の助動詞　**ウ**尊敬の助動詞

旅立ち

☆解答例と配点

問一　①はくたい　②こぞ　③やよい　④やたて〈1点×4〉

問二　①旅人　②いつ　③そのうちに　④親しい　⑤明け方〈2点×5〉

問三　①上がれ　②死せ〈2点×2〉

問四　①**ウ**　②**オ**　③**ウ**　④**ア**〈2点×4〉

問五　①**イ**　②**ア**〈2点×2〉

（計30点）